

提出年月日 7. 10. 27

受理年月日 7. 10. 27

陳情第30

八軒向第三公園内公衆トイレ建設中止を求める陳情

【趣旨】

旭台地区の街区公園である、八軒向第三公園に公衆トイレを建設するという計画があり、本年3月の議会にて予算承認されております。私たちは以下の①～⑤の理由から建設計画に反対し、計画の中止を求めております。

①街区公園であること

主に街区（半径250m程度）の住民の利用を目的として造られた公園です。駐車場はありません。災害時の避難場所としても指定されておりません。なぜ多目的トイレまで併設した公衆トイレがこの場所に必要なのでしょうか。

②犯罪面・防犯面の危険があること

多目的トイレの併設が計画されていることに危険性を感じています。多目的トイレは時として『危険な場所』となり得ます。人通りも基本的に少なく、通学路であることからも、子供たちが事件・犯罪に巻き込まれないかと心配の声が寄せられております。また、夜中に公園で騒ぐ人々の姿が散見されており、近隣住民は長年悩まされています。過去にはボヤ騒ぎも起きている公園です。公衆トイレ設置により溜まり場や死角ができ、更なる治安悪化への懸念があります。

③予算が高いこと・規模が大きいこと

約5,000万円という金額は、一般的な住宅1軒分よりも高額です。この公園には児童センターが併設されていますので日曜・祝日以外の一定時間は児童センター内のトイレを利用できます。そのことから、22m²の、大小便器をあわせて6個と手洗い4つを備えた、公衆トイレを今造る必要はないと考えます。この予算があるのであれば、既存の近隣・運動公園のトイレの修繕や小中学校のトイレの設備等、本当に今必要とされている場所へ迅速に投入して頂きたいとの声を沢山聞いております。また、八軒向第三公園内の事情を申し上げれば、公衆トイレではなく、子供たちが安全にボール遊びができるように、防球ネットの整備や、地域の住む人々が安心して暮らせるように、防犯灯・防犯カメラの設置を多くの地元住民は求めております。

④維持管理面の心配があること

公衆トイレをきれいに保つためには、長きにわたりきちんとした管理が必要です。人口減少・財政逼迫の中、将来の石岡を担う若者の負担になるのではないかと危惧しております。また、石岡市では、敢えてトイレットペーパーを置かない公衆トイレが見受けられますが、同様の対応がなされるのであれば、せっかく立派なトイレを造っても『宝の持ち腐れ』、『無用の産物』になってしまうのではないかと心配しております。

⑤近隣住民への説明がないこと

計画段階から今日に至るまで、近隣住民に対する説明は一度もありません。私たちは、予算が可決されてから『議会だより』を見て計画を知ったのです。内容を理解し、不安を払拭するために何度も『説明会開催』を要望して参りましたが実現されませんでした。一日に何

人がこのトイレを利用する想定しているのかも、未だに不明瞭です。なぜこの規模のトイレが必要なのかと不審に思っている住民もおります。少なくとも、この公衆トイレ建設計画は、大勢の地元民が望んでいるものではありません。近隣住民の住環境が変わる可能性があることからも、この計画が必要だと感じられるのであれば明確な説明および、入札前になるべく早い段階での説明会の実施を要望致します。

この陳情に先立ち、署名活動を行い、趣旨にご理解とご賛同を頂けた方々にご署名を頂きました。旭台地区や近隣地区は基より、この予算の使われ方に多くの市民が関心を持って動向を見守っています。本当に「この場所にこの規模の公衆トイレが、今必要なのか。」計画の中止や見直しの検討を含め、様々な観点からご審議をお願いするとともに、賢明なご判断を頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

【陳情事項】

- ◎公衆トイレ建設計画の中止や現計画の見直しの検討を強く要望致します。
- ◎建設計画を進めるのであれば、住民説明会の早期実施と今後の方向性や進捗の周知を求めます。